

令和7年度 第2回 大阪市立中大淀幼稚園・大淀小学校合同学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立中大淀幼稚園

日 時	令和7年10月29日(水)	
場 所	大淀小学校 図書室	
出席者	委員など	7名
	校園	校園長 主任教諭
	区役所	北区役所
議題	(1) 運営に関する計画(中間)について (2) 協議・意見交流	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 目標及び取組内容について 以下の内容について概ね理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園の教職員が、現状に合わせて課題を見出し、解決策や保育内容の工夫等の対策を取っていることが重要である。継続して行ってほしい。 ○『あいさつ』に対する保護者の意識に変化が見られたことは、大変素晴らしい。様々な価値観をもつ大人(保護者)の存在は、子どもの価値観にも大きな影響を与える。教育活動の中で、何を大事にしているのかという点をさらに知らせ、保護者が幼稚園の教育活動を理解できるよう努めてほしい。また、保護者の意識を変える手立てになればと考える。 ○保育活動の中での『あいさつ』の取り組みに加え、次の段階として子ども自身が自発的にあいさつできるよう、さらに指導を行ってほしい。 小学校の運動場や敷地内外でも、どんどんあいさつから交流を深めていってほしい。幼児期の子どもたちの姿が、小学校、中学校、そして大人につながっていく。 ○幼小交流に留まらず、近隣の保育所との連携を深めていることは、地域の子どもをみんなで育てるという観点からも大変よい。また、小学校の教師が園児に向けて実際に絵本を読み聞かせの取り組みは、他校園では耳にしたことがない。大淀小・中大淀幼稚園ならではの横断的な取り組みである。今後も、教職員の関わりを大切にしながら、子どもたちの心の育ちと進学への期待につながるような交流活動を柔軟に行ってほしい。 ○保健指導について、配布物を用いながら取組内容を知らせてくれたことがわかりやすかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園でも、生命の安全教育を実施していることに驚いた。関わり方や愛着行動等、子どもたちに先々知らせるメリット、デメリットもあると思うので、知らせ方には気を配ってほしい。 ・幼児期から生命の安全教育を行うことは、重要だと考える。性教育だけでなく、様々な価値観をもつ保護者がいる。家庭教育につながるよう、今後も必要な事柄や内容については指導を行ってほしい。
	協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度「運営に関する計画」(中間評価) ○令和7年度 保護者アンケートのまとめ(1・2回)、ほけんだより(2枚)
	備考	傍聴者【0】名